

2025年度 「自己評価」 および 「施設関係者評価」

2026年2月
社会福祉法人 護念児会
幼保連携型認定新通こども園

※評価基準 A：できている B：概ねできている C：あまりできていない D：できていない
※評価基準下の(カッコ)の数値は、平均点を示している。

領域		評価項目	昨年度		今年度		自己評価についての園の説明
			自己評価	保護者	自己評価	保護者	
組織運営	1	特色ある園づくりを目指し、職員が協力し合う体制を作っている。	B (3.02)	B (3.7)	B (3.18)	B (3.75)	保育者と保護者の双方から概ね良い評価を受けています。会議や研修を通して職員が互いに学び合いながら、子どもの興味や関心に合わせた保育の実践に努めています。
	2	子どもや園の実態、保護者や地域の意見・要望等を踏まえて教育目標を設定し、重点化された中・短期の目標が示されている。	B (3.0)	B (3.7)	B (3)	B (3.57)	保育者と保護者の双方から概ね良い評価を受けています。子どもや園の実態に合わせた全体的な計画の見直しを進めています。今後も保護者の意見を参考にしながら、より良い保育の実践につなげていきます。
	3	事故やトラブルに対して、組織的、迅速に対応できる体制を整えている。	B (3.29)	B (3.51)	B (3.35)	B (3.54)	保育者と保護者の双方から概ね良い評価を受けています。事故や怪我を起こさない環境の見直しを行うとともに、発生した際には看護師を中心に職員間で連携し、迅速に対応できるよう努めています。
	4	働き方改革、ハラスメント、職務規律を意識して、職員の勤務体制・意識の改善を図っている。	B (3.02)	B (3.57)	B (3.23)	B (3.56)	保育者と保護者の双方から概ね良い評価を受けています。職務規程や勤務体制については年に一度職員へ周知を行い、業務量の見直しを進めながら働きやすい環境づくりに取り組んでいます。
	5	管理職の明確なリーダーシップのもと、保育者が生き生きと働いている。	C (2.93)	B (3.63)	B (3.13)	B (3.59)	保育者と保護者の双方から概ね良い評価を受けています。昨年に比べて職員の評価は上がっているものの、保護者からの評価が下がっている部分も見られるため、組織体制の見直しや職員間の連携を図りながら改善に努めています。
	6	園の財務運営状況が適切に公開されている。	C (2.62)	B (3.34)	C (2.68)	B (3.47)	保育者からは改善の余地があるとの評価も見られますが、保護者からは概ね良い評価を受けています。財務運営の状況についてはホームページで公開し、透明性のある園運営に努めています。
園の理念・保育方針	7	教育及び保育理念，保育目標，目指す子どもの姿、園の全体的な計画に目を通してている	C (2.78)	B (3.75)	B (3.15)	B (3.74)	昨年度は保育者から改善の余地があるとの評価でしたが、今年度は保育者・保護者の双方から概ね良い評価を受けています。保育理念の見直しを行い、職員間での共有を図っています。
	8	子どもの人権を守る意識をもっている(命を守られ成長できること、子どもにとって最もよいこと、意見を表明し参加できること、差別のないこと)	B (3.22)	B (3.83)	B (3.65)	B (3.78)	保育者と保護者の双方から概ね良い評価を得ています。子どもにとって最善の利益が保障されるよう、職員間で意識を共有しながら保育実践に取り組んでいます。
	9	子どもを一人の人として尊重し，常に肯定的に関わる意識を持っている	B (3.19)	B (3.83)	B (3.55)	B (3.81)	保育者と保護者の双方から概ね良い評価を得ています。子ども一人ひとりを尊重し、肯定的な言葉がけや関わりを大切にしています。
	10	子どもの生活と豊かな遊びを保障し，見通しをもって生活が送れるように流れる日課を整えている	B (3.03)	B (3.85)	B (3.32)	B (3.78)	保育者と保護者の双方から概ね良い評価を得ています。子どもたちが遊びに没頭できる環境づくりと、見通しをもって安心して過ごすことができる安定した生活を大切にしています。

	11	子どもの持っている力が十分発揮できるよう環境を整え援助できるよう心がけている	C (2.61)	B (3.88)	B (3.15)	B (3.75)	昨年度は保育者から改善の余地があるとの評価でしたが、今年度は保育者・保護者の双方から概ね良い評価を受けています。子どもの興味や関心に合わせた保育環境や玩具の工夫に努めています。
	12	主体的に行動できる力を育むために、子どもが自ら遊びたくなるような環境を構成している	C (2.61)	B (3.88)	B (3.16)	B (3.8)	昨年度は保育者から改善の余地があるとの評価でしたが、今年度は保育者・保護者の双方から概ね良い評価を受けています。子どもが主体的に活動できる環境づくりを意識しながら保育を行っています。
	13	子どもの意思で判断できる気持ちを大切にし、思いを聞き自分で考えられるように関わっている	C (2.95)	B (3.77)	B (3.33)	B (3.81)	昨年度は保育者から改善の余地があるとの評価でしたが、今年度は保育者・保護者の双方から概ね良い評価を受けています。子どもの言葉を丁寧に受け止めながら、一緒に考えていけるように関わることを大切にしています。
	14	互いに尊重し合える関係性を育むために、子どもの話を聞き、共感している	B (3.08)	B (3.77)	B (3.54)	B (3.76)	保育者と保護者の双方から概ね良い評価を得ています。子どもの話をよく聞き、気持ちに寄り添う関わりを心がけています。
	15	否定的な表現ではなく、肯定的な表現で伝え、言葉を常に手渡すことを心がけている	C (2.68)	B (3.73)	B (3.23)	B (3.82)	昨年度は保育者から改善の余地があるとの評価でしたが、今年度は保育者・保護者の双方から概ね良い評価を受けています。子どもの姿を肯定的に捉える関わりを大切にしています。
	16	子どもに経験してもらいたい活動を保育者側の価値観ではなく、子どもの発達過程に即した援助を最優先している	C (2.53)	B (3.75)	B (3.05)	B (3.75)	昨年度は保育者から改善の余地があるとの評価でしたが、今年度は保育者・保護者の双方から概ね良い評価を受けています。各年齢の発達課題に合わせたねらいや内容を明確にし、子どもの発達に応じた援助を大切にしています。
	17	子どもと保育教諭は対等な立場であることを認識し、子どもと上下の関係や依存の関係にならないように心がけている	B (3.11)	B (3.75)	B (3.33)	B (3.76)	保育者と保護者の双方から概ね良い評価を得ています。子どもを一人の人として尊重し、一人ひとりの発達に応じた関わりを大切にしています。
	18	保育者同士、保育者個人を尊重しお互いの違いを認めながら子どものために協力している	B (3.14)	B (3.52)	B (3.44)	B (3.69)	保育者と保護者の双方から概ね良い評価を得ています。しかし日々の業務の中で職員間のコミュニケーション不足が見られることもあるため、意識して情報共有を行っています。
	19	多様な保護者の価値観があることを理解し、個々の保護者の思いに応じた支援を心がけている	C (2.89)	B (3.69)	B (3.23)	B (3.65)	昨年度は保育者から改善の余地があるとの評価でしたが、今年度は保育者・保護者の双方から概ね良い評価を受けています。多様な保護者の思いを理解しながら支援することを心がけています。
保育内容・健康・安全	20	保育の計画の作成にあたっては、子どもの発達過程や興味関心を十分に把握した、ねらいや内容になっている	C (2.7)	B (3.66)	B (3.14)	B (3.66)	昨年度は保育者から改善の余地があるとの評価でしたが、今年度は保育者・保護者の双方から概ね良い評価を受けています。子どもの姿を踏まえた保育計画の作成に努めています。
	21	子どもの活動内容や結果だけでなく、取り組む過程での子どもの心の育ちや意欲を大切にしている	B (3.06)	B (3.77)	B (3.3)	B (3.74)	保育者と保護者の双方から概ね良い評価を得ています。子どもの活動内容や結果だけでなく、取り組む過程での意欲や育ちを大切にしています。
	22	多様な子どもに合わせた支援について、職員間で共有し、適切な支援が行えるように心がけている	C (2.81)	B (3.69)	B (3.24)	B (3.62)	昨年度は保育者から改善の余地があるとの評価でしたが、今年度は保育者・保護者の双方から概ね良い評価を受けています。職員間で情報共有を行いながら適切な支援に努めています。
	23	特別支援教育体制の充実をするために特別教育支援コーディネーターの指名、園内員会の設置により、個別の計画に即した保育を展開している	B (3.13)	B (3.46)	B (3.09)	B (3.53)	保育者と保護者の双方から概ね良い評価を得ています。発達支援コーディネーターを中心に支援体制の充実を図っています。
	24	自らの実践の振り返りを行い、その結果を次の保育の計画に活かしている	C (2.54)	B (3.66)	C (2.95)	B (3.66)	保育者からは改善の余地があるとの評価も見られますが、保護者からは概ね良い評価を受けています。自己評価表を活用し、保育の振り返りを行っています。また、振り返りを実践に活かしていくよう努めています。

	25	子どもの健康状態を常に把握し、異常が見られた時には、保護者と情報を共有したうえで、適切な対応をしている	B (3.08)	B (3.79)	B (3.58)	B (3.79)	保育者と保護者の双方から概ね良い評価を得ています。看護師を中心に子どもの健康状態を把握し、丁寧な健康管理を行っています。
	26	「食べることは生きること」という理念に基づき、日々の食事を大切にしている	B (3.14)	B (3.79)	B (3.57)	B (3.84)	保育者と保護者の双方から概ね良い評価を得ています。食育計画に基づき、子どもの発達に合わせた食育活動を実施しています。
	27	自然災害や火災・不審者に備えて職員間で確認し、非常時に何をどのようにしなければならないか理解している	C (2.68)	B (3.61)	C (2.95)	B (3.74)	保育者からは改善の余地があるとの評価でしたが、保護者からは概ね良い評価を受けています。年間計画に基づき避難訓練を実施し、安全意識の向上に努めています。
家庭・地域・関係機関との連携等	28	年齢に応じた環境構成や援助のもと、ケガや事故に気をつけている。ヒヤリハットは記録し共有している	C (2.43)	B (3.53)	B (3.18)	B (3.66)	昨年度は保育者から改善の余地があるとの評価でしたが、今年度は保育者・保護者の双方から概ね良い評価を受けています。ヒヤリハットの共有を行い安全対策に努めています。
	29	開かれた園作りを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている	B (3.0)	B (3.65)	C (2.78)	B (3.71)	保育者・保護者の双方から概ね良い評価を受けています。園の保育についてはホームページなどを通して情報発信を行っています。
	30	家庭・地域社会と連携、協力し、より安全で豊かな教育活動を目指している	B (3.09)	B (3.65)	B (3)	B (3.71)	保育者と保護者の双方から概ね良い評価を得ています。祖父母の行事参加など家庭との交流を大切にしています。
	31	幼保こ・小連携教育の視点にたった教育活動を推進するために、小学校との連携を具体的に図っている	B (3.04)	B (3.49)	C (2.88)	B (3.53)	保育者と保護者の双方から概ね良い評価を受けています。小学校との交流会や連絡会を通して連携を図っています。
	32	保育者の専門性を生かし、保護者が子どもの成長に気づき、子育ての喜びを感じられるような支援を心がけている	C (2.79)	B (3.71)	B (3.16)	B (3.74)	昨年度は保育者から改善の余地があるとの評価でしたが、今年度は保育者・保護者の双方から概ね良い評価を受けています。ICTを活用しながら保育の様子を伝えています。
保育者の倫理・姿勢・資質向上	33	保護者の状況に応じて必要な保育を実施し、子どもの育ちを考慮しながら、適切な支援を行っている	C (2.78)	B (3.15)	B (3.31)	B (3.76)	昨年度は保育者から改善の余地があるとの評価でしたが、今年度は保育者・保護者の双方から概ね良い評価を受けています。子ども一人ひとりに合わせた対応を行っています。また、保護者の背景やニーズに合わせた支援を行えるように努めています。
	34	保育者としての責務と誇りを自覚し、人間性と専門性の向上に努めている	C (2.89)	B (3.78)	B (3.26)	B (3.69)	昨年度は保育者から改善の余地があるとの評価でしたが、今年度は保育者・保護者の双方から概ね良い評価を受けています。保育者としての人間性と専門性の向上に努めています。
	35	他の保育者から見て、不適切だと思われる言動が無いように心がけている	C (2.95)	B (3.78)	B (3.38)	B (3.75)	昨年度は保育者から改善の余地があるとの評価でしたが、今年度は保育者・保護者の双方から概ね良い評価を受けています。子どもにとって適切な関わりを意識しています。
	36	会議などでは積極的に意見交換を行い、保育者間で話し合いながら良好なチーム作りを心がけている	C (2.76)	B (3.52)	B (3.08)	B (3.66)	昨年度は保育者から改善の余地があるとの評価でしたが、今年度は保育者・保護者の双方から概ね良い評価を受けています。年齢や立場に関係なく職員間で意見交換を行いながらチームづくりを進めています。
	37	自身の身の回りや保育室の整理整頓を心がけ、園やクラスの備品の紛失がないよう責任をもって扱っている	C (2.73)	B (3.69)	B (3.24)	B (3.66)	昨年度は保育者から改善の余地があるとの評価でしたが、今年度は保育者・保護者の双方から概ね良い評価を受けています。保育室や身の回りの整理整頓を心がけています。
	38	業務上知り得た園・職員・家庭の情報の取扱いに気をつけ、守秘義務を守っている	B (3.49)	B (3.73)	B (3.85)	B (3.74)	保育者と保護者の双方から概ね良い評価を受けています。守秘義務を守り、情報の取り扱いには十分配慮しています。

39	勤務前には身支度と心を整え， 5 分前には保育に入るよう余裕を持った出勤を心がけている	B (3.08)	B (3.69)	B (3.46)	B (3.72)	保育者と保護者の双方から概ね良い評価を受けています。余裕を持って保育に入れるよう出勤時間を意識しています。
40	保育の計画作成や自身の保育実践の振り返りを行うことを心がけている	C (2.47)	B (3.66)	B (3)	B (3.62)	昨年度は保育者から改善の余地があるとの評価でしたが、今年度は保育者・保護者の双方から概ね良い評価を受けています。保育計画の作成と振り返りを行っています。ねらいを明確にし、各年齢に合わせた計画と実践に努めています。
41	自分の保育に対する同僚や上司からの意見を感情的にならずに聞き，自身の保育を振り返る機会としている	C (2.95)	B (3.52)	B (3.35)	B (3.68)	昨年度は保育者から改善の余地があるとの評価でしたが、今年度は保育者・保護者の双方から概ね良い評価を受けています。多様な価値観や保育観がある中でも保育について語ることで、同僚や上司からの意見を自身の振り返りに活かしています。
42	保育実践や研修などを通して自身の保育の専門性を高めるとともに、他の職員と共通理解を図り協働性を高めている	C (2.75)	B (3.64)	C (2.97)	B (3.71)	保育者からは改善の余地があるとの評価でしたが、保護者からは概ね良い評価を受けています。研修内容を職員間で共有し、資質の向上と協働性を高めていけるよう努めています。
43	様々な研修への積極的な参加を通して保育者としての使命を自覚し，資質や能力の向上に努めている	C (2.49)	B (3.64)	C (2.88)	B (3.71)	保育者からは改善の余地があるとの評価でしたが、保護者からは概ね良い評価を受けています。職員が自身の興味・関心のある分野の研修会などに積極的に参加できる体制を整え、研修への参加を通して保育者としての資質向上に努めています。